



# 府中地区保護司会だより

第58号

発行 府中地区保護司会 会長 朝倉俊夫



農業まつり

11月15日・16日府中市郷土の森博物館本館前  
芝生広場に開催され、大勢の人で賑わいました。



## 巻頭言

府中地区保護司会副会長 田中陽子

平成25年に保護司を拝命し、13年目を迎えます。この度、副会長という重責ある役を頂きまして、どこまで会長を補佐し、保護司会活動を担っていかれるか自分自身に問い、改めて身の引き締まる思いです。

令和6年は、更生保護制度が75周年という大きな節目の年であり、令和7年4月17日には「国際更生保護ボランティアの日」として、第1回記念式典が行われ、その後、府中地区保護司会も更生保護女性会と共に黄色いハンカチを振って新宿都庁よりパレードを行いました。保護司を始めとする更生保護ボランティアの国際的な認知度を高める一助となりました。

「国際更生保護ボランティアの日」を契機に今まではどちらかと言うと裏方的な存在の保護司が、地域社会で再犯防止の旗手として、罪や非行をした人たちを社会から排除するのではなく、社会の一員として立ち直りを支える保護司の役割は重要な存在になってきています。

令和8年は府中地区保護司会創立30周年記念の年です。諸先輩方が脈々と築いてくださいました保護司会活動をきちんと引き継がなければならないと思います。

しかしながら当保護司会が高齢化が進み、これから5年間で三分の一の保護司が退任されます。

保護司は対象者の更生・改善を助けるだけではなく保護司会活動も重要な任務として捉え、新人発掘をするときには保護司の役割をきちんと説明していく必要があります。

保護司会の課題は多々ありますが、朝倉会長を中心に、次世代を担う新任保護司の発掘に努めると共に、魅力ある保護司会活動のためにまず現役の保護司が丸となって課題に取り組んでいくことが大切です。そのためには、保護司としての資質を高めることが重要であり、研修の充実を図ると共にベテラン保護司が経験不足の保護司との対話の場の設定が求められます。

私自身も微力ながら府中地区保護司会の更なる充実を図り、安全・安心なまちづくりのために寄与していきたいと思います。ご協力よろしくお願い申し上げます。



## ご挨拶



府中警察署長

みずむら  
水村 淳

令和7年8月18日付で、府中警察署長に就任しました水村です。よろしくお願いいたします。

保護司の皆さまにおかれましては、警察業務に対して、平素から深いご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。また、更生保護活動を通じて、街の安心・安全にご尽力頂いておりますことに深く感謝を申し上げます。

さて、令和7年中、警察としては少年の規範意識を一層向上させるため、より早い段階の年齢層に対する広報啓発活動が特に有効と考え、特に小学校高学年の児童及びその保護者等をターゲットにした対策を講じて参りました。

背景としては、非行少年として検挙・補導された少年について平成22年から13年連続で減少していました。令和5年から増加傾向にあり、

その規範意識の低下が危惧されているところで、特に、初発型非行といわれる万引きについて小学生の占める割合が多く、少年の特殊詐欺検挙人員も高水準で推移している事情があります。

こうした状況については、府中地区保護司会も同様の危機感をお持ちいただいているとのことで、社会を明るくする運動や学校との連携委員会の活動を通じてご協力して下さり、心強く感じております。

今後も「安全で安心して過ごせる街府中」の実現に向けて、各種非行防止活動や犯罪検挙活動を推進してまいりますので、保護司の皆さまにおかれましては、引き続き、明るい社会実現のため、社会復帰を目指す者たちを善導していただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、府中地区保護司会の益々のご隆盛と会員の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

## 会長就任のご挨拶



多摩地区保護司会連絡協議会

会長 土方 三男

賀会の開催などの活動を行っています。

この度、6月に開催された理事会において推薦され、多摩地区保護司会連絡協議会（以下「多摩連」）の会長に就任致しました。朝倉会長をはじめとする府中地区保護司会の皆様方には日頃より多摩連の活動にご理解・ご協力を賜わり大変ありがとうございます。微力ですが、一生懸命努める所存ですので皆様方の御支援をよろしくお願いいたします。

多摩連は東京保護観察所立川支部管内の9地区保護司会会員（令和7年6月現在の保護司現員数は923名、定員1,134名）により構成され、各地区保護司会の連絡・提携を緊密にし、保護司活動の充実を図り、その使命達成に寄与することを目的として組織されています。多摩連は「保護司法第14条」に定める法定組織ではありませんが、各支部で定組織ではありませんが、各支部で情報交換、研修会の開催、受彰祝

各地区保護司会では保護司の高齢化や保護司数の減少が進み保護司適任者を着実に確保していくことが喫緊の課題となっており、保護司会の活動に参加困難な保護司の増加、複数の行政にわたる保護司会運営の難しさ等多くの課題を抱えています。多摩連がこれらの課題解決のための情報交換の場として積極的に活用できれば幸いに思います。

ここ数年、多摩連の活動もコロナウィルス感染対策の影響でなかなか思い通りの活動ができませんでしたが、昨年は全体研修を復活することができ、徐々に従来の活動を取り戻しつつあります。本年度も令和8年2月4日に刑法等の一部改正をテーマに府中刑務所長（西岡慎介氏）を講師に招き全体研修会を開催しました。保護司だけでなく更生保護に携わる大勢の方にもご参加をいただき実りある会になりました。



## 令和7年度 第7ブロック保護司組織運営連絡協議会

総務部 小澤 秀敏

令和7年10月21日（火）、第7ブロック保護司組織運営連絡協議会が、府中市のバルトホールで開催され、5地区から意見発表が行われた。協議会は前年に引き続き「社会を明るくする運動」について考える」であり、前年の協議会の成果が本年の第75回社明に結び付いたか、そして社明運動についての共通認識はどうか等々、70年以上連綿と続いてきた社明運動について、議論すべき課題満載の協議会となった。

本年度は当番地区でもあり、準備に当たり協議員会を組織して議論を



重ねた結果、意見発表者には古川耕央保護司を選出した。また今回はパネルディスカッション形式を取り入れたことで、さらに重要な役割を帯びた座長には田中陽子保護司を選出して臨むことになった。

パネルディスカッションでは白熱した意見交換が行われた。これはひとえに各地区代表者（パネラー）の皆様の深い知識・経験から導き出された発言が最大の要因ではないかと思う。

次年度、今回得られた貴重な知見を活かして、さらに一歩進化した「社明運動」が展開されることを期待したい。

パネラーの皆様に感謝!!

## 宿泊研修会 静岡刑務所

研修部 吉野 博文

令和7年9月29、30日の両日にかけて、静岡方面をめざして宿泊研修を実施しました。29日は総勢19名で大國魂神社前よりバスに乗り込み、荘厳な浄蓮の滝と神秘的な堂ヶ島天窓洞を見学し、堂ヶ島ニュー銀水では水平線に沈む真っ赤な夕日をラウンジで鑑賞することができました。夕食時には会員相互の親睦を深め、翌日訪問する施設の参観を確認し合い、早めに就寝しました。30日には清水駅で合流した4名も含め総勢23名にて静岡刑務所の参観に行きました。静岡刑務所では「参観説明」と掲示された看板のある部屋に案内され、刑務官により施設の基本情報（敷地面積が東京ドームの約2倍、職員



278人、収容人数897人）や受刑生活の流れ、受刑者への処遇、教育（余暇活動等）、調査・社会復帰支援等について約1時間の分かり易いレクチャーを受けました。その後、施設巡回ではイヤホンをつけ作業処遇等の説明を聴きながら、家具等の木工作業、チラシ等の印刷作業現場を参観してきました。また、社会と繋がる場の刑務所作業製品販売所では受刑者の作品（チェスト、整理箱、革靴、お神輿等）の展示販売を参観しました。とてもよい参観ができました。



## 令和七年度 公開講演会

## 「塀の中で感じた痛み」を聴いて

地域活動部 新島 香



講師：木津 香織 氏

府中刑務所総務部調査官の木津香織氏による「塀の中で感じた痛み」を拝聴し、刑務所や非行の背景について深く考えさせられました。

第一部では、犯罪件数は減少している一方で高齢者の再犯率が下がらない現状や、刑務所内での生活について具体的に紹介され、規則正しく

管理された生活であることが印象に残りました。また、府中刑務所の職員数と受刑者数の説明から、運営には多くの税金が使われており、また大変さも伝わってきました。

第二部では、木津氏が少年院や刑務所の現場で感じた「痛み」が語られました。虐待を受けながらも母親を求める少年院の少女の姿から、家庭での愛情が非行防止にどれほど重要かを学ぶことができました。また、刑務所では大罪を犯しながらも周囲の無関心によって絶望を深めた少女の話を通し、地域や周囲の大人が関わり、手を差し伸べることの大切さを強く感じました。

本講演会を通し、一社会人として目の前に起きていることに対し、自分は何ができるのか考え行動していくことの大切さを改めて感じることができました。

## 更生保護女性会の活動について

府中地区更生保護女性会

研修部長 石川 二三代

私たちは、心豊かに生きられる明るい社会をめざし、関係団体と提携しつつ、あたたかな人間愛をもって明るい社会づくりのために活動させて頂いています。

年に一度、市内中学校の道徳授業参観に参加させて頂いています。

又、子育て支援活動として現在は幼稚園の行事に参加させて頂いています。又、管外研修や、今年度はNHKスペシャル「ばっちゃん」子どもたちが立ち直る居場所」と題して講演者を迎えて研修会を行いました。

又、毎年、手芸をさせて頂いています。年に二回刑務所帰住衣寄贈品に協力をさせて頂いています。

今後も会員一同元気で楽しくモットーに活動させて頂きます。宜しくお願い致します。



## 第65回全国矯正展

令和7年12月7日(日)午後1時～2時、東京国際フォーラムで「社会を明るくする運動」のイベントが行われました。

府中地区保護司会から田中陽子保護司がひまわり企画のトークショーのコメントーターとして出演しました。







## 生活指導主任会と

## 保護司との連絡協議会

令和7年11月11日（火）午後3時から移設後の新府中市立教育センターにて市内全公立小学校・中学校生活指導主任と保護司との連絡協議会が行われました。

講演後、グループ懇談会が行われ有意義な日となりました。

### 学校との連携委員会副委員長

伊藤 仁

スマートフォンの普及に伴い、SNSに起因するイジメ問題から犯罪まで、巻き込まれる被害児童生徒が年々増加傾向で、小学生のスマートフォン保有率が70%以上、中学生では99%以上と、保護者が買い与えているのが現状です。

問題なのは、保護者が危機意識を持たず、フィルタリングやペアレンタルコントロールを行わずにスマートフォンを渡してしまう、そして親子同じ屋根の下に居ながらLINEで会話？ これではコミュニケーションも取れないと思います。



新 府中市立教育センター

子ども間でのグループLINEで、気に入らない子に対して、話し合って事を鎮める事が出来る子は思いつきの気持ちを大切にしています。が、仲間外れから外す考えの子は、とても心配に思います。

SNSでの犯罪が低年齢化している事から小学生のうちから指導が必要と感じました。

今年度初めて、府中市教育委員会と府中地区保護司会の共催として、『生活指導主任会と保護司との連絡協議会』と名称を変更しまして、開催する事ができました。限られた時間でしたが、大変有意義な意見交換が出来た事と思います。ありがとうございました。

### 第75回

社会を明るく  
する運動  
作文コンテスト

今年度もたくさんの中学生の皆さんから作品が寄せられました。

今回は、個人の受賞作品はありませんでしたが、学校によっては、学年全体で授業の中で取り上げてください、広く運動への認知と理解促進に取り組んでいただきました。

そして次の二校が50点以上の応募数により奨励賞を受賞しました。

おめでとございます。

### 奨励賞

- ・府中市立府中第七中学校
- ・府中市立府中第九中学校

今後も『社会を明るくする運動』に、ご理解、ご協力をいただきますよう引き続き宜しくお願い致します。





令和七年度（秋）

# 受彰者

（敬称略）

## 府中地区保護司会

法務大臣表彰

高橋 淳二

関東地方更生保護委員会委員長表彰

市川 勉

崎山 弘

関東地方保護司連盟会長表彰

住崎 岩衛

東京保護観察所長表彰

齋藤 巧

廣野 ひとみ

東京都保護司会連合会会長表彰

青木 和男

東京保護観察所長感謝状（家族功労者）

吉野 敏江

府中地区保護司会 在会表彰

北島 章雄

20年 高野 律雄

25年 高橋 淳二

三浦 智恵美

15年 奈良崎 芳恵

10年 市毛 彰

藤井 幸夫

前田 久美子

令和7年度市民表彰

市川 耕作

小澤 量  
堺 美佐子  
原田 勝彦

第75回社会を明るくする運動  
東京都推進委員会委員長感謝状  
府中市ル・シーニユ全体管理組合

## 府中地区更生保護女性会

日本更生保護女性連盟理事長表彰

北村 のぞみ

関東地方更生保護女性連盟会長表彰

高野 佳子

東京保護観察所長感謝状

林田 あゆみ

東京更生保護女性連盟会長表彰

廣野 ひとみ

室 淳子

## 法務大臣表彰を受彰して

高橋 淳二



身に余る法務大臣表彰を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。活動当初は戸惑う事も多くありましたが、私がここのまで活動が続けられたのは、ひとえに、温かくご指導くださった諸先輩方、共に活動してきた同僚方々のご理解とご協力のおかげであり、深

く感謝しております。私個人への表彰というよりも、活動に携わるすべての皆様に対する激励と受け止めております。今後も微力ながら一層の精進を重ねてまいります所存です。

## 退任あいさつ

保護司生活を顧みて

西腰 美恵子



平成7年から令和7

年まで、家族の協力と保護司仲間、観察所の皆様に見守られ、30年間保護司を務められて感謝しております。

私の最後の担当はベットボトルの紅茶が好きな、詐欺に係わった若者です。最終面接日には御両親が同伴で、「幸あれ」と見送りました。

印象深い思い出では、「今、東京駅です。関西の組に入れられそうので、助けて下さい」といきなり電話が入り、すぐ府中警察署へ同行しました。他に違法薬物の怖さも実感しました。妄想で高速道路を逆走した上、米国行きの船に密航して捕まり、横浜まで面会に行きました。最後に、家出を繰り返していた奔放な女子学生が、「うちのママは素晴らしい」

と働きながら子育てしている母親を尊敬していったことも、心に残る思い出です。

御協力頂いたハローワーク、府中警察署、学校教員の皆様にも感謝しております。保護司として得難い経験を積めて、人生勉強になることばかりでした。

## 満期退任を迎えて

大沢 美保子



23年間の保護司活動が終わり、令和7年9月16日法務省にて、満期退任保護司への感謝状伝達式が行われた。東京都において9月16日に満期の上限を迎える保護司は約70名。当時の法務大臣名が書かれた感謝状が各保護司に渡された後、約2分の感想発表の時間が続いた。私にとっては、ITの利用によって書類作成や連絡ができるようになっていく過程をつぶさに経験できたことが、大変新鮮で有意義だった。お昼には東保連から、お弁当が提供され、おいしくいただいた。解散時、保護司証とバッジを返却。ひっそりと始めた保護司も今では国際的にも評価され、「保護司の日」もできた。一層の発展を期待したい。



## 府中警察だより



府中警察署生活安全課  
少年第一係長 吉原 陽子  
よしはら しょうこ

警視庁では各小中学校・高等学校において非行・被害防止教室を行っており、特に昨今は、「闇バイト」の危険性を伝えるため、提案方式によるアウトリーチ型非行防止教室を実施しています。

併せて、「インターネットとSNSの危険性」「薬物乱用の危険性」等についても教室や各種イベント等で情報発信をしています。「警視庁の公式YouTubeチャンネル」の一部ですが、映像資料を紹介します。是非、一度ご覧いただき、今後の活動の参考としてみてください。

ご存じですか？

## 警視庁公式 YouTube チャンネル



←ピーポくんアニメーション  
万引き 5分

TOKYO 少年ネットルール→  
プログラム第1部



←TOKYO 少年ネットルール  
プログラム第2部

TOKYO 少年ネットルール→  
プログラム第3部



←警視庁が「ゆっくり解説」  
これがリアルな闇バイト

闇バイト  
「その先にある絶望」→



←インターネットとSNSの  
危険性

薬物乱用防止啓発映像→  
【大麻の誘惑】



ぜひ、一度ご覧ください



## 企画調整保護司になって

更生保護サポーターセンターふちゅう

設楽 文字

保護司を拝命して2年目になった令和7年度初め、企画調整保護司の指名を受けました。

「企画調整保護司って何？」というところからのスタートでしたが、サポーターセンターの駐在を2か月に一度程度担当させていただいています。2名ずつの駐在で、先輩保護司の方と過ごす3時間。駐在業務を行いながら、保護司をお引き受けし、その目に見える具体的な困りごと、それ以上に、目には見えない漠然と

した不安などをおしゃべりの中で少しずつ解消していく安堵感をいただき、まさしく人のつながりの場とさせていただいています。企画調整保護司をお受けする前は、サポーターは敷居が高く入室することもほとんどありませんでしたが、駐在で3時間過ごしてみると、サポーターに出入りする先輩方がどんなことをなさっているかの様子も拝見できる、貴重な機会にもなっています。

## 府中地区保護司会コラム②

## 繋 が り

小場 淳吾

保護司3年目に入りました。よろしくお祈りします。現役消防団員時代に2011年東日本大震災が起これ、国府繋がり、の宮城県多賀城市への救援物資搬送の任務を受け家族の理解の中、府中市として2回目の搬送準備に入りました。震災10日後の21日から22日の2日間です。当日、市役所玄関で訓示をいただき、挙手敬礼にて出発しました。東北道を下り宇都宮ICまでは全ての車両が走行可能ですが、この先は被災証明を提示した車両のみの走行となります。途中、一時帰省へ向かう消防車両とすれ違う際に運転者以外の隊員が挙手謝礼にて、引き継ぎを頼むと、言葉には無い、消防車両同士の繋がりを感じさせられました。のちに現地に入りガス、水道、電気と全てのライフラインが寸断されている状況を目の当たりにし、自分が逆の立場の時、果たして不安をどの様に取り除けば良いのだろうかと感じさせられました。未だ完全復興とはなりませんが、有事の際は沢山の仲間と力を合わせ繋がりを大切に安全、安心な社会作りに微力ではありますが、努力してまいりたいと思います。



## 福祉まつり

広報部

田中 節子



令和7年10月19日に第45回福祉まつりが開催されました。当日は雨模様で不安定な天気でしたが、府中市けやき並木通り&府中駅南口ペDESTリアンデッキに97団体が参加、メインステージでは15団体の発表があり大変賑わいました。府中地区保護司会は社明運動への理解が進むことを願いパネル展示と法務省チラシ、ティッシュ、「ホゴちゃんぬりえ」を手渡しました。今年も府中刑務所の受刑者が作成した陶器や折り紙細工をプレゼントするお手伝いをし、返礼のメッセージを依頼しましたが、快く書いてくださいました。法務省チラシをじっくり読んでくださる方もいて、担当した時間は短時間でしたが、心温まる時間を過ごせました。

## BBS会の活動について

府中地区BBS会

会長 岩崎 弘治

保護司会の皆さまには、日頃よりBBS活動へのご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私たちBBS会は、若い世代による更生保護ボランティアとして、青少年の立ち直り支援や地域の健全育成に取り組んでいます。今年度は新たに2名の会員が加わり、多様な視点と活力が生まれました。現在は、学習支援のボランティアなど、会員一人ひとりが自分の関心や得意分野を生かして、さまざまな形で青少年の成長を支えています。多摩地区BBS連絡協議会では所属地区会が増え、地区を越えた交流や研修の機会も広がり、活動が一層活発になっています。こうした広がりの中で、更生保護や青少年支援への社会的関心が高まりつつあることを実感しています。これからも若い世代が自然に参加できる場をつくり、地域に根ざした温かな支援の輪を広げていきたいと思っています。

## 活動日誌抄

- 9月
  - ・多摩連常任理事会・懇親会
  - ・府中市福祉のまちづくり 推進審議会
- 10月
  - ・第5次地域活動計画策定委員会
  - ・府中刑務所運動会
  - ・保護司候補者検討協議会
  - ・福祉まつり
  - ・第7ブロック保護司組織運営 連絡協議会・懇親会
- 11月
  - ・府中刑務所文化祭
  - ・多摩連各部会（研修・総務）
  - ・府中市福祉のまちづくり 推進審議会
- 12月
  - ・東京更生保護事業関係者顕彰式典
  - ・第65回全国矯正展
  - ・社会福祉協議会理事会
  - ・多摩連常任理事会・懇親会
  - ・多摩連受彰祝賀会
  - ・東保連代表者協議会
- 1月
  - ・新年賀詞交歓会
  - ・新年合同互礼会
- 2月
  - ・JC新年賀詞交歓会
  - ・多摩連保護司全体研修会
  - ・四者連携強化研修
  - ・府中市福祉のまちづくり 推進審議会

## 編集後記

令和7年11月15、16日に郷土の森で府中市農業まつりが開催され、多くの市民の皆様にご来場を頂きました。両日共天候にも恵まれ、直売テント前は行列が出来ました。最近猛暑で野菜の生育が悪く、出荷数量が確保できない状況が起きています。

また市内の農地は、相続が起きるたびに農地が減少し宅地化されています。一方では地産地消の声が聞かれます。

野菜を供給する農家は猛暑のなか頑張つて農作業をしています。日中は40度に迫る中では農作業は出来ません。種まきをして土の中で種が焼けてしまい、発芽しません。

国が自給率を上げる為には、農業が継続できる税制改革をする必要が在ると日々考えます。地球温暖化を抑制する為には、生物多様性が担保された環境に戻す。社会全体が人間目線を下げる事が絶対条件です。

住崎 岩衛

## 広報部

|     |       |       |
|-----|-------|-------|
| 部長  | 奈良崎芳恵 | 前田久美子 |
| 副部長 | 田中 節子 | 石塚百合子 |
| 書記  | 住崎 岩衛 | 柊 昌一  |
| 会 計 | 隆 ミワ子 | 市橋 正造 |
| 部 員 | 藤井 幸夫 | 内藤 祐治 |

題字は高野市長の揮毫によるものです  
表紙の写真・提供 府中市